

令和5年8月2日

練馬区教育委員会事務局

練馬区立向山小学校校舎等改築説明会質疑について（要旨）

日 時：7月8日（土）午後15時30分～

会 場：練馬区立向山小学校 体育館

参加者：65名（児童の保護者、近隣にお住いの方、
お子様が入学予定の保護者等）

説明会での主な質疑

Q 1 屋上運動場は3階にあるのか？また、屋根はあるのか？

A 1 3階（2階の屋根）部分にあります。屋根はありません。

Q 2 北東側の学童・地域開放門の利用はどの程度の人数を想定しているのか？

A 2 図書館開放の利用者やねりっこ事業での利用を想定しています。ねりっこ学童クラブの定員は90名です。

Q 3 学童や開放図書館利用時の騒音などについては、北側住民に対してどのような配慮をするのか。

A 3 安全面にも配慮しながら、住民の皆様からご意見をお伺いし、フェンス仕様等を検討したいと考えています。

Q 4 災害に対する耐震設備や機能はあるのか。

A 4 建築基準法で定められている基準の1.25倍の強さを確保するように設計しています。また、西側正門付近には避難された方のための組立式トイレが設置できるよう、専用のマンホール（マンホールトイレ）を複数箇所整備する予定です。

Q 5 グラウンドに芝生は用いるのか？

A 5 向山小学校に芝生を導入する予定はありません。

Q 6 校庭に面する水飲み場などの蛇口はどこにあるのか？

A 6 保健室前と校庭南側の田畑に近くに設けています。

Q 7 工事期間中の防音・防塵対策はどうなっているのか？ また、騒音に対する補償金などはでるのか。

A 7 防音シートを設置し、解体時などは粉塵が巻き上がらないよう水撒きを行い対応します。

補償金等の対応は想定しておりません。個別に相談をしながら進めたいと考えています。

Q 8 ①既存校舎と比較して新校舎の日影の影響はどうなるのか？

②2階3階の屋上部分は児童も利用するのか？

③視線などプライバシーへの配慮はあるのか？

④児童が窓から物を投げることへの対策はあるのか？

A 8 ①建築基準法上の日影は相対的に既存校舎よりも緩和されます。

②屋上運動場を除き、2階3階の屋上部分は児童の利用を想定していません。

③植栽帯や不透明ガラスの設置等を今後の設計で検討していきます。

④窓の開閉範囲を制限するなど今後の設計で検討していきます。

Q 9 グラウンドの砂が道路へ流れているため対策してほしい。また、付近の住民が掃除した場合に、その砂は通常のゴミとして捨てることができないので、ゴミ箱を設置してほしい。

A 9 防砂ネットの設置を検討します。ゴミ箱設置はご意見として受け止めさせていただき、まずは近隣の皆様にご迷惑をおかけしないですむように、スプリンクラーや掃除の回数を増やすなど運営面での対策を検討します。

Q 10 防災備蓄倉庫はどこにあるのか。また、何人分用意するのか。

A 10 体育館にあるものに加えて新校舎内に新たに設置し、64㎡を確保します。700人分の備蓄を行います。

Q 11 仮設校舎がグラウンドに建てられるまでの間、運動会や体育授業、放課後の遊び場はどうなるのか。

A 11 体育授業は、夏休みの空調設置工事中などの一部期間を除き、屋内運動場を主に利用していただくこととなります。運動会などの行事は、近隣校のグラウンドを借りて行うことも視野に、近隣校と調整を行っていきます。放課後の遊び場については、屋内運動場や各工事期間に設置されるひろばスペースを使用して行っていただくこととなります。

Q12 北西側道路の現在ゴミ集積所となっている場所に給食搬入門が設置されることとなっているが、このゴミ集積所は移転するのか。

A12 清掃事務所と協議をして検討しますが、移転等がある場合は、移転先や時期を事前にお知らせします。

【 説明会の様子 】



説明会後の個別の質疑

Q 1 以前の工事の際に、学校回りの道路が工事車両の影響で使用できなくなり、一般車両が北側にある道路を迂回路として使用していた。しかし、その道路は道幅が狭く、車両のすれ違いが難しいため、狭い道で渋滞が起こり、付近の住民の出入りができなくなるような事例があった。今回の工事でも同様のことが起きる可能性があるため、北側道路付近に誘導員を配置するなどの対応を行ってほしい。

A 1 施工者については現在未定ですが、交通誘導員の配置等により、近隣の方の出入り等の状況に配慮するよう申し伝えます。

Q2 新校舎平面計画(資料3)北側給食室横にある設備はなにか。騒音等が大きいものか。

A2 受水槽とポンプです。当該地域の規制値 40db を超える場合、防音フェンス等必要な対策を講じる予定です。

Q3 既存マンホールトイレは、北側に4か所、正門付近に6か所あるはずだが、工事中、使えない期間が出るのか。出た場合は、災害時にどうすればよいか。

A3 北側のマンホールトイレは令和6年8月(予定)まで使用可能です。

正門付近のマンホールトイレは令和8年8月(予定)まで使用可能です。

上記以降については、現在実施設計の中で調整中です。

Q4 新校舎の基礎工法について、直接基礎なのか。

A4 杭基礎としており、杭種は既製コンクリート杭、杭長は11mを予定しています。

Q5 新校舎の構造を、耐震基準の1.25倍としているようだが、どのくらいの強さがあるのか。

倒壊しないと言っているが、柱等がひび割れた状態で、避難拠点を運営するのか。また、1.25倍でなく1.5倍にすべきではないか。

A5 改築校については、大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保が図られている水準を確保しています。したがって、避難拠点を運営することには支障がないと考えています。また、今後の改築校についても同様に計画していきます。

Q6 備蓄倉庫が、体育館・新校舎に3か所となるとのことだが、なぜ分けたのか。

A6 今回の改築工事では、体育館は工事対象ではなく、一部改修を除き現在のまま継続します。

ただし、防災倉庫としては狭小となっている現状がありますので、新校舎内に追加して32㎡の倉庫を西側正門付近に設けるよう計画しました。

どこに、どのように資機材・物資を保管すれば便利になるのか、現場をあずかる学校や避難拠点連絡会にてご協議いただき、新たな活用方法をご検討いただきたいと考えています。

Q7 旧校舎のお別れ会をぜひ開きたい。期間・時間が限られるだろうが、協力して欲しい。

A7 スケジュール調整でご協力させていただきますので、期間や時間等、企画内容を学校とご相談ください。

Q8 北東側の学童・地域開放門は、どのように利用することを想定しているのか。90名程度の利用との説明であるが、利用人数や時間帯を教えてください。

また、放課後に在籍児童がねりっこ学童クラブを利用する際の動線を教えてください。

A8 北東側の門（電気錠設置）を使用するのは、ねりっこ学童クラブ 90 名、図書開放利用者の予定です。

利用者・時間帯別の出入口・門は以下の予定です。

学童利用動線	昇降口・正門が利用できる時間 (17 時頃まで ※1)		昇降口・正門が利用できない時間 (最長 19 時まで ※2)	
	出入口	門	出入口	門
在籍児童	昇降口	正門	北側地域開放入口	北東側の門
在籍以外の児童※ 3	北側地域開放入口	北東側の門	北側地域開放入口	北東側の門

※ 1 原則、昇降口・正門は 17 時頃まで利用可能です。

※ 2 保護者のお迎えは最長 19 時までです。

※ 3 向山小在籍以外の児童は例年 2～3 名程度です。

実際の運用方法等は、新校舎完成後の利用状況等を踏まえて決定することになります。

Q9 屋上運動場の防音壁について、南側も防音壁となるのか。

A9 北側、東側と同様の防音壁を検討しています。